

よこすか E C O 通信



第16号(平成27年3月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

子どもと自然遊び

子どもの頃の自然遊びは、思いのほか思い出に残っていませんか？きれいな昆虫のハネを見つけたり、甘酸っぱい木の実を食べたり、一番星を見つけたり。大きな体験でなくても、楽しかったたくさんのことが鮮明に思い浮かんできます。これらの自然活動を、子どもたちにもっと体験してもらいたいという動きが、広がっています。

「自然」に育まれる力

子どもの中でも特に幼児期に、自然活動を中心とした教育を行うのが「森の幼稚園」です。ドイツなどの北欧で広がった動きで、日本でも全国各地で森の幼稚園が行われています。一般的な幼稚園のように毎日通うものもあれば、幼稚園とは別に、定期的に行われるグループ活動もあります。これらの活動では、基本的には大人は見守り役に徹し、子どもたちは森の中で自由に遊びまわります。想像力をはたらかせ、自然の中の葉っぱや花、枝、木の実、時には雨も、遊び道具に変身させていきます。

横須賀市の里山的環境保全・活用事業の長坂モデル地区「沢山池の里山」では、親子向けの自然遊びプログラムが開催*1され、たくさんの子どもの参加があります。参加する子どもの中には、自然遊びに慣れている子、慣れていない子、どちらもいます。それでも最後にはみんなでのびのび遊ぶ様子を見ることができます。自然遊びを通じて、他の子の遊びを観察し、自然におしゃべりが生まれ、仲間になって遊びを楽しんでいます。体力はもちろん、好奇心や観察力、お友だちとの付き合い方など、様々な力が自然に育まれている事が見てとれます。

自然体験が、子どもの育ちに影響を与えるという報告*2はこれまでもあります。子どもの頃は、色々な能力が育つ時期になるので、自然体験をはじめとした色々な体験をすることが、その子の育ちにたくさんの刺激を与えることは十分に考えられます。だからこそ、子どもの頃の自然体験が大切になってくるのではないのでしょうか。横須賀の自然の中でたくさん遊んだ子どもたちが、横須賀の自然を大切にしている心を持って大きくなってくれたら素敵だなと思います。



「沢山池の里山」での自然遊びの一場面
(写真提供 自然環境共生課)

*1 この他に、定期的に行われているグループ活動もあります（次頁参照）。

*2 独立行政法人国立青少年振興機構「青少年の体験活動等に関わる実態調査」等

裏面には季節の生き物図鑑「潮だまりの生き物」の掲載があります。

春の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

「天神島ガイドツアー」

日 時 4月26日(日) 10:30~11:30 (毎月第4日曜日)
場 所 天神島臨海自然教育園
内 容 教育園内の動植物や景観など見どころを紹介します。
定 員 当日先着20名

博物館教室「そだててしらべる! カブトムシ」

日 時 5月16日(土)、7月18日(土) 10:00~12:00
場 所 自然・人文博物館 本館講堂
内 容 カブトムシの飼育を通じて、昆虫の生活を勉強します。
定 員 20名(抽選)
締 切 5月2日(土)

「干潟の生き物」

日 時 5月17日(日) 9:00~12:00
場 所 小田和湾(長井・富浦公園裏手)の干潟
内 容 横須賀に残された貴重な干潟にくらす生き物たちを観察します。
定 員 30名(抽選)
締 切 5月2日(土)
申 込 往復はがきに行事名・参加希望者全員(家族に限る)の住所・氏名・年齢・電話番号を往信面に、ご自分の住所・氏名を復信宛名面に記入し、博物館へ
・希望者多数の場合、市内在住者を優先します。
・野外の催しは参加費50円が必要です。
問合先 横須賀市自然・人文博物館
〒238-0016 横須賀市深田台95
電話824-3688



横須賀市地球温暖化対策地域協議会

「ソーラーランタンを作ろう」

~春休み子ども環境体験教室~

日 時 3月30日(月) 13:00~16:00
場 所 産業交流プラザ 第二研修室
内 容 工作などを通じて地球温暖化について学びます
対 象 市内在住、在学の小学3~6年生
定 員 抽選24名
費 用 300円(材料代)
申 込 3月1日(日)~16日(月)
電話で横須賀市コールセンター(046-822-2500)へ
問合先 横須賀市環境企画課 電話822-8524

市民大学さがけ講座

「再生可能エネルギーがくらしと地域を変える」

日 時 4月3日~5月15日のうち金曜日と5月13日(水)
13:30~15:30 (全8回)
場 所 生涯学習センター(ウェルシティ市民プラザ内)
講 師 NPO法人クリーンエネルギーフォーラム
理事長 前田 典秀さん
定 員 抽選80名(市内在住・在勤・在学者優先)
受講料 4,080円
締 切 3月16日(月) 20時必着(締切後はお問い合わせ下さい)
申 込 講座名・住所(市外在住の方は勤務先・学校名と所在地も)・氏名・年齢・電話番号をはがき、電話、来館で下記問合先へ。またはHP(<http://www.manabikan.net/>)から。
問合先 生涯学習センター(まなびかん)
〒238-0046西逸見町1-38-11 電話822-4873
*市民大学前期講座は広報よこすか4月号などでお知らせします。

コミュニティセンター

「春の植物散策 塚山公園を歩く」

日 時 4月21日(火)(荒天時:4月28日(火))
9:30 京急安針塚駅集合、12:00頃 逸見駅解散
場 所 県立塚山公園内
講 師 大前 悦宏さん(神奈川県植物誌調査員)
内 容 塚山に自生する植物を、歩きながら観察します。
定 員 20名(抽選)
対 象 健脚の方(傾斜あり、2時間ほど歩きます。)
費 用 保険代50円
締 切 4月6日(月)
申 込 講座名・住所・氏名・年齢・電話番号を記入して、往復はがき・E-mail・窓口(返信用はがきを持参)で、下記コミュニティセンターへ
問合先 浦賀コミュニティセンター
〒239-0822 浦賀5-1-2 電話841-4184
E-mail urph-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

小中学生の土曜体験プログラム すかっ子セミナー2015

対 象 市内の小学校3年生~中学生(原則)
活動期間 各コース 5月~10月の土曜日1回
全体会 5月16日(土)オリエンテーション、まなびかん
11月14日(土)合同発表会、まなびかん(予定)
主 催 市民活動団体による「すかっ子セミナー実行委員会」
〔募集コース〕

コース	分野・コース名	募集人数
1	生活環境 エコニコ・サークル	5
2	地域A よこすか探偵団!	12
3	地域B むかしあそび in 万代会館	12
5	自然系A 川がき探検隊	20
6	自然系B 自然博士になろう	10
8	自然系D 海っ子・山っ子	15
9	自然系E すかっ子ヨット・クラブ	4
10	創作科学 実験工作クラブ	10

費 用 1コース4,000円、2つのコース受講の場合7,000円
9コースは、他に特別参加費10,000円
申 込 学校等に配布の「募集チラシ」を確認の上、申込むこと
問合先 電話046-823-1965 (YPS 事務局 藤澤)

親子で自然体験「沢山池の里山散歩」

日 時 毎月第2土曜日10:00~12:00
10:00沢山池の里山駐車場集合
場 所 沢山池の里山(長坂5丁目)
定 員 親子10組程度(年齢制限なし)
内 容 ネイチャーゲームや自然体験活動プログラムを行います。
締 切 前日18時まで
その他 長袖、長ズボン、長靴、帽子、タオルは必携です。
泥遊び、水遊び、木登り対応の服装、着替えがあるとベストです。(水着、手袋、ゴーグル、遊び道具は適宜)お弁当の持参は自由です。
申 込 「横須賀市の里山」HPの応募フォーム又は下記問合先へ
問合先 新現役の会 横須賀支部 榎本
電話 046-853-5035
携帯 090-4208-0436
携帯メール ryu61ryu@ezweb.ne.jp
「横須賀市の里山」HP
<http://yokosuka-satoyama.jp/index.html>



※横須賀市主催の事業については議会の議決を受けて実施するものです。

市内の環境活動を紹介 よこすか環境フォーラム2015

1月31日(土)にヨコスカ・ベイサイド・ポケットで、「よこすか環境フォーラム2015」が開催されました。表彰式や、環境活動のステージ発表、そして後半はJAXA(独立行政法人宇宙航空研究開発機構)のタウンミーティングを行いました。小学生の元気あふれるパフォーマンスによる「私たちのエコ活動」発表の後、タウンミーティングでは、ご来場の皆さんからたくさんの質問があり、大変盛り上がりしました。

1. 表彰式

夏休みエコチャレンジポイント参加校の追浜小、池上小、長井小、野比東小の4校(高坂小は欠席)と、環境ポスターコンクールの入選者20名が表彰されました。



環境ポスターコンクール 入選者と協賛企業の皆様

2. 発表! 私たちのエコ活動

NPO法人三浦半島生物多様性保全の渡辺氏からは市内における里山の再生活動、野比東小4年生からは学校での省エネの取り組み、そして汐入小3年生から猿島自然観察会をはじめとする1年間の体験活動が発表されました。

- ・NPO法人三浦半島生物多様性保全「里山の環境保全・活用事業」
- ・野比東小「ECOでつながるみんなの笑顔」
- ・汐入小「すてきがいっぱい わたしたちの横すか市」



子どもたちの元気な活動発表(左から)野比東小学校、汐入小学校

3. JAXAタウンミーティング

JAXAという組織や、最新の環境観測衛星「だいち」など、様々な研究や成果の紹介がありました。その後、取り組みについての提案や宇宙についての質問を会場とやりとり。小学生もたくさんの質問をしてくれましたよ!



大気汚染物質は衛星で観測できますか?

宇宙に地図はあるんですか?

宇宙開発は何のためにするんですか?

4. フロア展示

猿島自然観察会に参加した浦賀小6年生と衣笠小4年生、地域の川の調査を行っている追浜中科学部、水質保全協議会、そして発表団体のポスターや壁新聞を展示。スカリンへの環境メッセージも集まりました。

エコバックを使う!

地球温暖化をふせげ!

今の自然は未来からの借り物 利子をつけて返そう

節電を心がけます!

みどりを大切に

リサイクルします



田戸小学校で公園ワークショップ実施 ~あったらいいな!平成町にこんな公園~

横須賀市では学校の環境学習のお手伝いをしています。今回は、田戸小学校5年生4クラスの環境学習の一環で、公園づくりのワークショップを1月15日に実施しました。各クラスごとに理想の公園を描き、市職員がアドバイスをしました。

1月28日には発表会が開かれ、クラスの代表が完成した理想の公園を発表しました。環境に配慮して、多くのみどりを取り入れ、ソーラーパネルやLED照明灯を設置したりといった工夫が見られました。その他にも、防災機能をとりいれたり、のびのび遊べる場所があったりと、たくさんの工夫が詰まった公園ばかりでした。

今回の取組は、学校にとっても市にとっても初めての試みです。ワークショップを担当した公園建設課からは、「これからの公園をみんなで考える機会になり、自分たちにとってもいい経験になった。今後の業務に繋げていきたい。」との声がありました。

子どもたちからは、「公園を大切に使うようにしたい」、「公園に色々な機能があることがわかった」という感想がありました。今回の授業を通して、自分たちの地域の環境により関心をもってくれるようになると嬉しいです。

【授業の流れ(平成26年12月~平成27年1月)】

- ①事前学習 地域の公園を調べよう(ワークシート)
- ②出前講義 「みどりの都市横須賀」を目指して〔自然環境共生課〕公園の機能・役割〔公園建設課〕
- ③事前学習 公園のテーマ決め(ワークシート)
- ④公園ワークショップ
- ⑤発表会



職員から公園づくりのアドバイス



みんなの前で発表会

お知らせ

(公財) 高原環境財団

~子供たちの環境学習活動に対する助成事業~

対象者 保育園、幼稚園、小学校、町内会等の地域活動団体
 期間 7月1日~平成27年3月13日の活動
 内容 小学生以下を対象に行う、緑化や自然体験などの環境保全に関する体験・学習活動
 助成額 助成対象事業の必要経費、1団体あたり上限50万円(総額400万円)
 締切 5月22日(金)必着
 申込 申請書(HPから取得)に提出書類を添えて郵送 *詳しくはHPをご覧ください。
 問合せ 公益財団法人高原環境財団
 〒108-0074 東京都港区高輪3-25-27-1301
 電話 03-3449-8684 FAX 03-3449-2625
 E-mail mail@takahara-env.or.jp HP <http://www.takahara-env.or.jp/bosyu/index.html>



春から夏にかけての横須賀の海は、昼間に潮がよく引くようになります。潮の引いた磯には大小さまざまな潮だまり（タイドプール）ができて、「天然の水族館」と呼ばれるほど生き物の観察に適した場所になります。今回は横須賀の潮だまりでよく見られる生き物を紹介しましょう。

ダイダイイソカイメンは、オレンジ色をしたカイメン（海綿）動物です。カイメン動物のことを英語ではスポンジSpongeといい、その名のとりのスポンジ状の体にはたくさんの水分を含んでいます。ダイダイイソカイメンは、体にたくわえた水分によって干上がった磯でも乾燥せずにいられます。

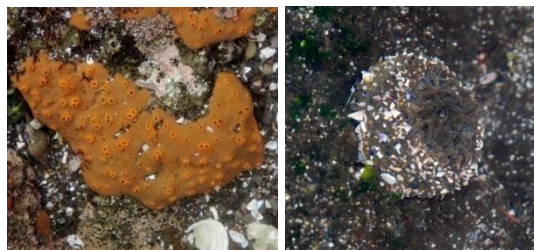
ヨロイイソギンチャクは、たくさんの砂粒を体につけて、まるで「よろい」のように身を守るイソギンチャクのなかまです。潮だまりの中では98本もある触手を広げてえさを待ちますが、さわられたり干上がったりとすると触手を縮めて「きんちゃく袋」のように丸まります。

ヒライソガニは、石の下を隠れ家になっている小さなカニで、狭い石のすき間でくらすため甲が平たくなっています。甲の色や模様には変異が多く、白色、茶色、灰色、無地、まだらなど、同じ種類とは思えないほどバリエーションが豊かです。

アゴハゼは、潮だまりを代表する魚で、全長7cmほどの小さなハゼのなかまです。このハゼは冬に潮だまりの石の下に卵をうみつけ、ふ化するまでオスが卵を守ります。やがて卵はふ化して、春になるとたくさんの稚魚が潮だまりにあらわれます。



潮だまり(タイドプール)



ダイダイイソカイメン(左)とヨロイイソギンチャク(右)



ヒライソガニ



アゴハゼ

(横須賀市自然・人文博物館 萩原 清司 学芸員)

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力: 横須賀市自然・人文博物館
発行元: 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
TEL: 046-822-8327、FAX: 046-821-1523、E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

☆ HPIは横須賀市HPから「ECO通信」で検索。(カラー版でご覧いただけます！)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

この情報誌は、横須賀市環境教育・環境学習ネットワーク会議の事業の一環として発行しております。「環境教育・環境学習ネットワーク会議」とは、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

